

ISSN-1348-8872

AMAMI News Letter

NO.16



■特集：公開シンポジウム－新しい奄美世界の創出－(1)

和泊町シンポジウムの記録掲載にあたって

シンポジウム開会のあいさつ

プロジェクト代表あいさつ

基調講演：持続的・自立的社会の創造に向けて

■研究調査レビュー

奄美群島における風化残積土（赤土等）の土質特性（その2）

書評：「島嶼圏開発のランドデザイン」編

『奄美と開発－ポスト奄振事業と新しい島嶼開発』

■しまゆむた

沖永良部島の日本復帰運動

奄美ニューズレター

鹿児島大学

2005年3月

■ **Special Report :**

Public symposium on Creation of a “New Amami”

- 1 The Wadomari Symposium
Hirai Kazuomi (Director)
- 2 Opening Speech
Izumi Sadayoshi (Mayor, Wadomari Town)
- 3 Address from the Project Leader
Yamada Makoto (Project Leader)
- 4 Aiming to Create Sustainable and Independent Communities
Minamura Takeichi (LEH)

■ **Research Review**

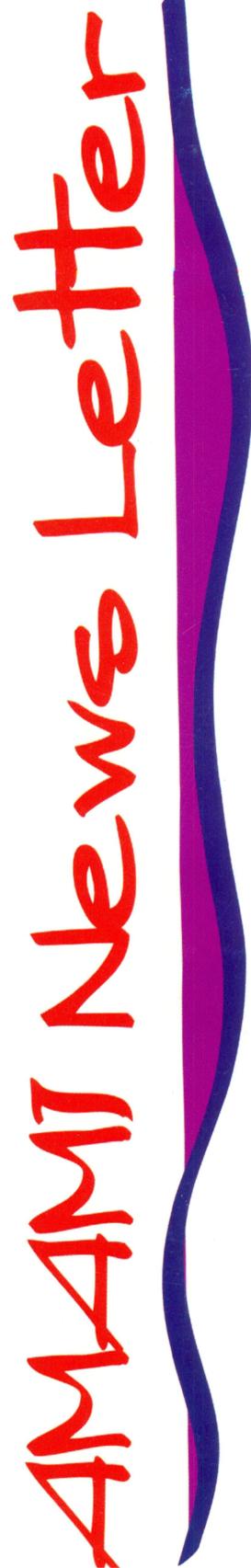
- 19 Soil properties of residual soils in the Amami Islands (2)
Kitamura Ryosuke (Engineering)
Fukami Kenichi (Graduate Student, Graduate School of Science and Engineering)
- 25 Book Review
“Amami and Development – Post-Promotion Project Amami and New Development in the Island Area” edited by Island Development Grand Design Team
Yamamoto Kazuya (LEH)

■ **Amami Report**

- 29 The Movement for the Return of Okinoerabu to Japanese Sovereignty
Kawakami Tadashi (General Manager, Minami Nippon Shimbun News Agency, Wadomari, Okinoerabu)

■ **Information**

AMAMI News Letter



奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン--- 南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、月刊の学術雑誌であり、下記の内容を毎号掲載いたします。

- ・ 研究調査レビュー 鹿児島大学研究グループの成果発表
- ・ しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
- ・ 島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文
- ・ 鹿大資料紹介 鹿児島大学所蔵奄美資料の紹介
- ・ ちーびし 執筆者紹介、奄美関連の行事案内、編集後記

- 奄美ニューズレターの執筆研究グループは以下のメンバーです。

研究代表 山田 誠 (法文) 編集代表 萩野 誠 (法文)

- 島嶼のなかの人々、人々のなかの島嶼 (資源としてのヒト)
 - ◎神田嘉延 (教育)・小柳正司 (教育)・狩野浩二 (教育)・前田晶子 (教育)
- 島嶼における情報ネットワーク (資源としての情報)
 - ◎萩野 誠 (法文)・下園幸一 (法文)
- 自然環境と開発ポテンシャルA (資源としての自然)
 - ◎北村良介 (工学)・地頭菌隆 (農学)・西隆一郎 (工学)
- 自然環境と開発ポテンシャルB (環境保全型自立産業としての農業生産)
 - ◎菅沼俊彦 (農学)・津田勝男 (農学)・遠城道雄 (農学)
- 歴史の変容と開発
 - ◎新田栄治 (法文)・糸尾達哉 (法文)・原口 泉 (法文)・中村直子 (埋文)
- 産業・経済の変容と開発
 - ◎皆村武一 (法文)・宮廻甫允 (法文)・北崎浩嗣 (法文)・山本一哉 (法文)
- 社会意識の変容と開発
 - ◎石川英昭 (法文)・木村 朗 (法文)・平井一臣 (法文)・米田憲市 (法科大学院)
- 文化意識の変容と開発
 - ◎廣瀬晋也 (法文)・木部暢子 (法文)・桑原季雄 (法文)・高津 孝 (法文)
- 島嶼コミュニティと環境ガバナンス
 - ◎篠原隆弘 (法文)・采女博文 (法科大学院)・土居正典 (法科大学院)・西啓一郎 (法文)
- 島嶼圏政治行政システムと環境ガバナンス
 - ◎山田 誠 (法文)・朴 源 (法文)・坂田裕輔 (近畿大学)・前利 潔 (知名町)

目次

■特集：公開シンポジウム－新しい奄美世界の創出－(1)

和泊町シンポジウムの記録掲載にあたって

平井 一臣 (プロジェクト事務局長)—————1

シンポジウム開会のあいさつ

泉 貞吉 (和泊町長)—————2

プロジェクト代表あいさつ

山田 誠 (プロジェクト代表)—————3

基調講演：持続的・自立的社会の創造に向けて

皆村 武一 (鹿児島大学法文学部)—————4

■研究調査レビュー

奄美群島における風化残積土 (赤土等) の土質特性 (その2)

北村 良介 (鹿児島大学工学部)

深見 健一 (鹿児島大学大学院理工学研究科)—————19

書評：「島嶼圏開発のグランドデザイン」編

『奄美と開発－ポスト奄振事業と新しい島嶼開発』

山本 一哉 (鹿児島大学法文学部)—————25

■しまゆむた

沖永良部島の日本復帰運動

川上 忠志 (南日本新聞和泊販売所所長)—————29

■ちーびし—————33